別表8

応急手当啓発員講習Ⅰ

項目		細目		指導内容	時間	
基礎的な知識・技能	基礎知識(講義)	応急手当指導員(啓発員)認定制度		○認定制度の意義　○応急手当指導者の心構え	2	9
		応急手当の対象者		○応急手当の啓発を行うべき対象者		
		応急手当の重要性		○応急手当の目的　○応急手当の必要性		
	救命に必要な応急手当の基礎実技	観察要領		○観察の必要性　○外見観察　○救命観察　○全身局所観察	4	
		心肺蘇生法	気道確保要領	○気道確保の必要性　○気道確保要領		
			人工呼吸法	○人工呼吸の対象○呼気吹き込み人工呼吸法(成・小・乳・新)○一方弁付呼気吹き込み用具による人工呼吸		
			心肺蘇生法	○心肺蘇生の対象　○胸骨圧迫の要領　○心肺蘇生(成・小・乳・新)一人法および二人法		
			異物除去法	○指交差による開口と指拭法　○側胸下部圧迫法　○背部叩打法		
				○ハイムリック法(意識があり気道異物が強く疑われる場合)		
			止血法	○出血の種類　○直接圧迫止血法　○止血帯法		
	その他の応急手当の基礎実技	傷病者管理法		○衣類の緊縛解除　○保温法　○体位管理法	3	
		外傷の手当要領		○包帯法　○骨折の固定法　○熱傷の手当		
		搬送法		○担架搬送法　○その他の搬送法　○応急担架作製法		
指導要領	基礎医学	解剖・生理学		○人体各部の名称　○骨格系　○循環器系　○呼吸器系　○消化器系　○脳・神経系	5	13
		感染防止		○応急手当による感染の可能性　○一般的な対応　○血液・吐物等の注意		
	資器材の取り扱い要領			○保守・管理(分解・消毒)　○記録紙の見方　○その他		
	指導技法			○指導要領　○展示要領　○話し方　○補助者の活用要領		

				○レッスンプラン作成要領		
	救命に必要な応急手当の指導要領	観察の指導		○観察に係る指導・展示要領（意識・呼吸・循環のサインの調べ方）	6	
		心肺蘇生法	気道確保の指導要領	○気道確保に係る指導・展示要領（頭部後屈顎先挙上法・下顎挙上法・回復体位）		
			人工呼吸法の指導要領	○人工呼吸法に係る指導・展示要領（呼気吹き込み人工呼吸法・一方弁付呼気吹き込み用具による人工呼吸）		
			心肺蘇生法の指導要領	○心肺蘇生法に係る指導・展示要領（成・小・乳・新）一人法および二人法		
			異物除去法の指導要領	○異物除去法に係る指導・展示要領（指交差による開口と指拭法・側胸下部圧迫法・背部叩打法・ハイムリック法）		
		止血法の指導要領		○止血法に係る指導・展示要領（直接圧迫止血法・止血帯法）		
	各種手当の組み合わせ・応用の指導要領			○想定課題に基づく指導要領	2	
効果測定と指導内容に関する質疑への対応				○応急手当奏効事例　○想定質問と回答例　○その他	2	
合計時間					24時間	

※本講習の受講日から概ね前後3か月以内に上級救命講習を受講した場合は、講習内容の一部を短縮することを可能とする。